

(調査様式1)

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和7年3月7日

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670103904
法人名	有限会社 ドリーム・ミソノ
事業所名	グループホーム 紫原
所在地	鹿児島県鹿児島市紫原四丁目34番31号 (電話) 099-250-2643
自己評価作成日	令和7年1月21日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/">http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/</a>
-------------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和7年2月28日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・高台にあり、春になると近くの公園や、道路沿いの桜の花がとても綺麗で、コロナが落ち着きを見せている現在では、入居者様を花見見物へお連れしています。

・近所に公園や学校・医療機関があり、大きな道路から少し入った所にある為、とても静かで恵まれた環境に作られたホームです。

・学校の職場体験学習の受け入れや地域の文化祭・夏祭り・運動会の見学を行う等、地域の方との交流を行っています。(現在、コロナにて中止するところもあり)

・入居者様へは出来るだけ入居前と変わらぬ生活を送って頂きたい為、ご自宅で使用していた家具等をお持ち頂く事をお勧めしております。

・入居者様が日々楽しく暮らして頂ける様努めております。

・施設内は広々とした空間があり、開放感があります。

・職員は介護福祉士の有資格者が多く、月に1回の内部研修や外部研修にも力を入れ、常に自己研鑽に努めております。

・災害時の避難場所も近くにあり、避難訓練を定期的に行っています。

・面会については、気兼ねしないよう配慮しながら支援を行っています。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

・当事業所は、近くに公園や学校・医療機関・金融機関等があり利便性が良い。

・町内会に加入し地域夏まつりを見物したり、中学生の職場体験学習や高校の介護実習生を受け入れている。ホーム行事の敬老会では利用者とボランティアと一緒に手拍子や踊る等、笑顔で交流している。

・本人や家族の希望に合わせ、かかりつけ医と関係を大切に、定期の訪問診療と法人母体の医療機関への月1回の定期受診を職員同伴で受診支援している。24時間医療連携体制で訪問看護により健康チェックで健康管理し適切な医療を受けられるように支援している。

・新鮮な食材で調理し週1回刺身や海鮮丼等を提供している。行事食や誕生日には好きなものを提供したり、家族も一緒に外食する等、楽しめるような工夫をしている。

・アットホームな環境の中で、利用者の思いに寄り添い、よく声かけや気配りを行い、健康面でもきめ細かく見守っており、家族から感謝されている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている</p>	<p>事業所ホール等に掲示し内容を理解した上で日々の支援に取り組めるようにしている。</p>	<p>理念は目に付きやすい玄関やホールの数箇所・事務所に掲示し、日々のケア実践に取り組んでいる。毎月のミーティングで理念を唱和し、年度末に振り返り次年度に繋げている。</p>	
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>感染症対策を行いながら、徐々にではあるが、ボランティアの方々や近くの幼稚園生と交流を行ったり、町内の回覧板で地域の情報を共有している。</p>	<p>町内会に加入し回覧板で地域情報を得ている。日常的に散歩等で交流している。地域の夏まつり見物、近隣の幼稚園児と一緒に踊り笑顔も見られている。中学生の職場体験学習や高校の介護実習生・敬老会ではボランティアを受け入れ日本舞踊で利用者は手拍子や涙を流して喜んでいる。</p>	
3		<p>○事業所の力を生かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。</p>	<p>事業所玄関先に資料を設置し見学者や相談にこられた方が気軽に手に取れるようにしている。また、運営推進会議に専門の方々を時々来て頂きお話をお願いしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的な運営推進会議を実施し入居者様の状況やサービスの実際、外部評価の結果報告を行い、意見をもらいサービス向上に活かしている。また、内部研修の発表報告も行っている。	会議は2ヶ月毎に対面で開催し、入居者状況や行事・ヒヤリハット・事故発生状況・職員の内部研修等の活動報告と外部評価結果を報告し、意見を反映して、サービス向上に活かしている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	地域包括支援センターへは紫原行事予定表や運営推進会議議事録・資料等を送付して事業所の近況報告を行っている。また、行政連絡事項については、電話・電算システム・または直接足を運び迅速に対応している。	市担当者とは窓口や電話で、書類申請・ケアプランの相談等の助言を貰ったり情報を得たり、日頃から協力関係を築いている。介護相談員の受け入れや市主催の研修にオンライン等で参加し全職員で共有している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束廃止委員を選出し、定期的に研修を行い入居者様の尊厳を損なわないケアを心がけ防止に努めている。	身体拘束廃止委員会を毎月開催し、マニュアルの確認や権利擁護・スピーチロック等について学び、尊厳を損なわないケアを心がけている。家族の了解を得て夜間のセンサーを使用している。日中の玄関施錠はしていない。家族と外出や買い物に出かけている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされないことがないよう注意を払い、防止に努めている	毎月虐待防止委員会を開催し研修を行い、虐待について見過ごすことなく防止できるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	人権擁護について内部の研修を行ったり、講師の方をお招きして学ぶ機会を持っている。必要時はその都度、関係者と話し合い活用できるよう支援している。		
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居時ご家族様へ重要事項説明書・契約書に沿って十分な説明を行い疑問や質問にお答えしている。ご理解を頂けたかその都度確認し契約や解約の署名、必要時は捺印を頂いている。介護保険改正等あった場合は文章でお知らせし了承を頂いている。また、入居前にはご本人様やご家族様に見学して頂き納得して頂いてから契約に繋げている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	玄関先に意見箱を設置しているがあまり活用されていない。施設の相談担当者・解決担当者・外部に定めた第三者委員会の連絡先を重要事項説明書に明記して説明並びに玄関に掲示している。また、2~3ヶ月に1回ご家族様へご要望・助言・評価などを記入して頂いて返信して頂き、それらをまとめたものを運営推進会議議事録と共に送付して、運営に反映されるよう努めている。	利用者からは日常の会話や利用者間でのコミュニケーション、表情や仕草等で意見や要望の把握に努めている。家族からは面会・電話・ライン・ビデオ電話等で現状報告したり毎月発行の便りで写真と担当者のコメントで現状を報告している。年1回の家族会や2~3ヶ月に1回のアンケートで意見や要望を聞く機会を設けている。要望等はケアプランに反映させている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>日常の業務やミーティング時に職員の意見や提案を聞き、その都度解決へ向けて取り組んでいる。</p>	<p>管理者は毎月合同ミーティングや申し送り業務の中で意見や提案を聞き、ユニット責任者も積極的に意見を言える環境作りをしている。管理者は個人的に相談がある場合は即対応している。ケア方法の変更や必要時、栄養補助食品等を取り入れたり、勤務終了の定時に帰宅できている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>資格修得による手当の支給や実績による評価をして頂く等、向上心をもって働くことが出来るように努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>年間計画を立てて職員が持ち回りで様々な研修内容の資料を準備し勉強会を行っている。また、法人内外の研修も受ける機会の確保を行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>管理者・職員は同業者が参加する協議会に参加し意見交換や気づいた事を持ち帰り情報を共有し質の向上に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	見学時や利用開始する段階でご本人の希望・要望・不安要素をお伺いし、話しやすい雰囲気の中でお互いに信頼できる関係作りに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族のご要望や困っている事、不安なこと等など伺い納得頂けるよう説明を行い良好な関係が維持できるように努めている		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族から相談を受けた際生活面・経済面・健康面等の状況を把握して本人に適したサービスが利用出来る様他の施設や事業所と連携を図り対応している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	お盆拭きや洗濯干し・洗濯物たたみ等、入居者様がお手伝いして頂ける事や得意な事を活かしながら、毎日の生活の中で共により添える関係を大事にしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>職員はご家族に近況をお伝えするが、ご家族も面会時や外出時に状態の変化に気づいた時は職員にお伝えして頂くようにお話している。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>馴染みの深い物や大切にされているものを居室に置いている方もいらっしゃる。友人・知人の訪問は気軽に受け入れ馴染みの関係の継続に努めている。</p>	<p>家族・友人・知人の面会はホールや居室で自由に行っている。電話の取次やハガキ・手紙の支援をしている。受診帰りにドライブで馴染みの景色を見物したり、家族も参加しレストランで外食している。家族との外出で墓参りや法事への参加・買い物等、馴染みの関係の継続に努めている。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>入居者様同士が会話されたり、一緒に誕生会やイベントに参加して頂けるように支援させて頂いている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>退居後も利用者様の現在の様子をご家族に電話等でお聞きし場合によっては相談に応じ必要時支援に対応する様努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人ひとりの会話や様子を観察しながら、ニーズを把握するように努めている。困難な場合は、ご本人の表情や動作から読み取ったり、ご家族との話を聞いたりしながら、把握に努めている。	日頃の会話や利用者間のコミュニケーション、午前中のゆっくりしている時に思いや意向を話されることが多く把握に努めている。困難な場合、表情や動作・声掛け等で家族にも状況を伝え職員間で話し合い、寄り添う支援をしている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでのご本人の生活様式を鑑み、ご自宅で生活していた時に使用されていた家具や布団、趣味の物を持って来られている。ご本人のペースで過ごして頂けるようご家族やご本人と会話にて情報を聞き支援できるように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ご利用者様一人一人の生活リズムを把握しながら、記録やバイタルチェックを行い、様子観察をし体調の変化に早く気付けるように努めている。また、悪い様子ある時には、主治医や訪問看護師へ報告し連携を図っている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご利用者様ご本人やそのご家族、関係者、職員より意見を出し合い、カンファレンスを開催した際は、意見交換をしながら話し合いをし、介護計画へ反映される様に努めている。	本人・家族の希望を聞き、主治医の意見や毎月のカンファレンスでの職員の意見を参考に、利用者の趣味も反映させ介護計画を作成している。モニタリングを3ヶ月毎に行い、6ヶ月で見直している。状況変化時はその都度見直し、現状に即した介護計画にしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ご利用者様一人ひとりの日々の様子を観察しながら、特記事項は毎日、朝夕の申し送り時やノートへ記載し、職員で情報共有し介護計画の見直しを行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご利用者様お一人おひとりのニーズを記録していき、ご家族の状況等に応じて、柔軟な支援ができるよう努めている。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議を開催し、第三者の方を呼び研修を行ったり、消防署職員の立会いにて、避難訓練や救急救命訓練を行う事で、ご利用者様の安全で豊かな暮らしを楽しんで頂ける様努めている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人やご家族の希望に合わせたかかりつけ医と連携を図る事で、適切な医療を受けて頂ける様支援している。又、状態や状況にてご家族様への報告・相談し、専門医への受診も行っている。	本人や家族の希望する医療機関で支援している。主治医と関係性を築きながら訪問診療と協力医療機関の職員同伴の定期受診や往診で支援している。24時間医療連携体制で週1回訪問看護で健康チェックし適切な医療を受けられるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>かかりつけ医療機関の看護師へ日常の中で気付く状態変化を報告し、適切な医療を受けられる様、連携を図っている。医療連携でこられる看護師へ、近況の報告を行いつつ、変化ある時は連絡を行っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時はサマリーの提供を行っており、立ち会っての情報提供も行っている。又、入院中、定期的に状態をお聞きし、退院された際に滞りなく帰ってきて頂ける様支援している。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化した場合や終末期において、ご家族様と話し合い行っており、職員への情報提供も行っている。又、出来るだけご本人が安心して頂ける様配慮を行い、チームでの支援を行っている。</p>	<p>入居時にマニュアルに基づいて説明し同意書を貰っている。状況変化時はその都度家族に説明している。重度化した場合、主治医から状況や方針等を説明し家族の意思を確認している。看取り期は主治医や訪問看護師と連携し、チームで支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急時に備え、各個人のマニュアルの作成や、毎月のミーティング時にて、研修を行っている。又、年1回2月に救急救命訓練を行っており、スムーズに行えるよう努めている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回、消防署へ依頼し夜間と昼間を想定した火災時と地震時の避難訓練を行っている。また水や保存食、防災グッズ、担架などを分かり易い場所に設置しており、火災通報装置、スプリンクラーを設置している。</p>	<p>年2回防災訓練を実施し1回は消防署立会で夜間想定で通報訓練・避難誘導訓練・水消火訓練の総合訓練を実施し、アドバイス等を貰っている。自主訓練では昼想定で地震・火災の通報・避難誘導訓練を実施し、防災機器の点検を年2回業者依頼で実施している。緊急連絡網に地域住民代表を掲載し、協力体制がある。備蓄は飲料水・防災グッズ・ご飯・ふりかけ・菓子類・レトルトカレー等があり、法人作成事業継続計画（BCP）に沿って講師・薬剤師も交えて訓練し、不足分等補充している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>一人ひとりの入居者様を敬い、各々に応じた言葉かけを行うようにしている。訪室時はノックをしてご本人様に確認をする等、プライバシーを損なわない対応をしている。</p>	<p>年1回程度、接遇マナー等を学び、利用者に応じた言葉かけをしている。排泄時や入浴時の声掛けの工夫や羞恥心に配慮し、同性介助の希望等に対応している。トイレ時はドアを閉めて待ったり、洋服の準備等、自己決定できるよう声かけしている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>信頼関係を築きご本人の思いや希望を表して頂けるように努力している。又、、表現出来ない入居者については、表情やしぐさ等から思いを汲んだり察したりするように配慮している。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>入居者様のペースや希望に合わせた支援を心掛けている。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>希望に合わせた衣類を選べるように支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	台拭きやお盆拭き、お茶碗洗い等、各入居者様の能力や希望に合わせて職員と一緒にしている。	献立は職員で作成し、食形態は利用者に応じて提供している。週1回刺身や海鮮丼がある。行事食のおせちは手作り、敬老の日はお弁当、誕生日は希望食やケーキでお祝いしたり、家族と一緒にレストランで外食する等、楽しめるよう工夫している。台拭きやお盆拭き・茶碗洗い等、職員と一緒にしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分量を記録して把握するように努めている。摂取量が少ない方には言葉かけを行ったり、ご本人の好きな飲み物、食べ物を用意するなどして対応している。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に口腔ケアを必ず行っている。御自分でされる方も見守りや仕上げ磨きを職員が行っている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとり排泄パターンを把握し、職員間で共有して、トイレの声かけや誘導を行っている。立位保持が困難な入居者様については、職員が二人介助する等、可能な限りトイレでの排泄ができる様に支援を行っている。	排泄チェック表で排泄パターンを把握し、身体状況に応じて見守りや2人介助でのトイレ排泄支援をしている。排泄用品はリハビリパンツや尿とりパット・おむつ等、人に応じて対応している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	10時のお茶の時間に手作りヨーグルトを提供している。歩行できる方は、出来るだけ歩行する機会を作る様に支援している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴については一人ひとり決まってはいるが、体調や本人の都合（受診や外出等）に応じて変更を行っている。又、湯舟へ浸かれる方は、安全に出来る様支援行っている。	基本的に週2回の午前中に身体状況に応じて浴槽やシャワー浴と足浴支援をしている。順番等は状況によって変更している。入浴剤で楽しんでいる。拒否がある場合、声掛けの工夫・職員交代で支援し、家族の協力を得る場合もある。陰部洗浄や全身清拭の場合もある。医療機関処方保湿剤を全員使用している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	出来るだけ安眠して頂ける様、入居者様一人ひとりの体調や生活習慣を考慮し、入床時間の調整や空調、明るさ等の調整を行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	お薬ファイルを一人ひとりの作成しており、いつでも職員が閲覧できる様にしている。又、準備時、服薬時に職員2名による2重チェックを行っており、表へ記入している。薬の管理指導については、担当薬局の薬剤師より指導して頂いており、薬剤師と情報共有を行い薬剤変更等の必要に応じて相談を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	月1回誕生会や行事を楽しんで頂ける様支援しており、イベントにあった料理（おせちやお汁粉、七草がゆ等）を提供し、雰囲気や気分を出して頂ける様演出している。日常ではテレビの視聴や物を使ったゲームをされたり、入居者様同志や職員と会話を通じて馴染みの場所を感じる様に支援している。		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	まだコロナの心配はあるが、ご家族の面会へは特に規制しておらず、筋力向上の為にご家族様と散歩に行かれたり、職員とご家族様とで介助の必要な方も外食等に参加出来るように支援している。	天気の良い日はベランダや駐車場で外気浴をしている。受診帰りにドライブで車窓から季節の花や景色を楽しんだり、家族と一緒にレストランで外食したり、散歩・墓参り・法事・買い物等に出かけている。	
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族様と買い物へ出かけご本人の欲しい物を買物して頂いたりまた出かけるににくい方についてはご希望を聞きご家族様へ相談し購入して頂くか職員が買い物へ出かける際に購入の支援を行っている。		
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	携帯電話の通信手段を持たれている方で自ら電話することが難しい方については職員が支援して会話を楽しまれている。また、希望があればホーム内の電話を使用しご家族へ連絡されるのを支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に応じて飾り付けを入居者様と一緒にを行い居心地の良い空間作りに努めている。日常では明るさや空調、室温や湿度を調整し過ごしやすい様支援している。	ホールは明るい。加湿器付きの空気清浄機を設置し、定期的に換気を行い、室温や湿度をエアコンで調整し、清潔感のある環境となっている。階段には季節の壁画や展示物・中学生の職場体験実習生の作品等を掲示している。テレビやテーブルセット・ソファを配置し、居心地よく過ごせるよう工夫している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	入居者様一人ひとりの状態に応じ、席順や机の位置を考慮し、他入居者様との交流も考慮しながら思い思いに過ごして頂ける様配慮している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に使い慣れた品物・愛着のあるものを持参していただき居心地よく楽しく過ごして頂けるようご家族とも話し合いながら工夫している。	居室入口に写真と表札が有り、電動ベッド・タンス・洗面台・エアコンが設置されている。持ち込みとして、たんす・衣装ケース・ハンガーラック・テレビ・ラジオ・仏壇・位牌・ぬいぐるみ・家族写真・花も飾り、カレンダー・テーブル・椅子があり新聞を読んで過ごす等自分らしく生活している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下・トイレ・浴室には手すりを設置し、出来る限り入居者様の自立を支援行っている。トイレ・浴室・洗面所等わかりやすいように名札を貼り工夫している。		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない